

本質の祝福 (マルコ 10:1-12)

今日の聖書箇所、パリサイ人は、イエス様を試そうとして離婚について尋ねました。みことばは、イエス様を信じるように与えられたのに、パリサイ人は、そのみことばをもってイエス様に敵対したのです。同じみことばでも、自分が罪人であり、キリストによる救いが必要だと認めるか、認めないかで、このように正反対の結果になります。罪の本性は、「自分は救いが必要な罪人」と決して認めないことであり、それではみことばの理解は不可能で、みことばを見れば見るほどイエス様から遠ざかるようになるのです。

1. 「自分は罪人」と中心から認めると、みことばの本質が見えて、Only キリストになる。

1) 離婚証書の本質

神様が離婚証書を与えることを言われたのは、人間は、根本的に腐っている罪人なので、安全装置をつけないと、もっとひどいことをしてしまうからです。離婚をしても良いということではなく、人間が罪人であることを分からせるためのみことばです。

2) レビ記 20:19-20 の本質

目には目を、歯には歯をと言われたのも、人間は悪なので、目がやられたら身体全体までやり返そうとするので、せめてもの安全装置として、目だけにしなさいということと言われたのです。人間は、やられたら、それ以上のことをやりかえそうとする罪人なので、キリストでないと希望はないということです。生まれながら御怒りを受けるべき子だと言われる存在であり、考えること、することすべて悪だと認めるためのみことばです。

3) 十戒の本質

モーセに与えられた十戒も、本質は、メシ

ヤ(キリスト)を待って、来られる道を備える契約の民であることを一瞬たりとも忘れてはならないということです。そして、後半の人に対する戒律も、ともに歩んでいるすべての人は、キリストの契約のための共同体であることを一瞬たりとも忘れずに大事にしなければという意味です。

4) ヨハネ 1:14

ことばは人となったと言われてるように、みことばの本質はキリストであり、人間はどうしようもない罪人だと示すことです。自分が救いが必要な罪人だと聞こえないのでヒューマニズムに走りますが、それが罪のいちばんの本性で、悪魔が握っている部分です。世の中の教育、教えは、すべて、あなたがらばるべきで救いは不要だというものです。

2. Only キリストの人は、祝福の本質が見えて、エデンの祝福を回復する。

1) マルコ 10:6-9 にあるイエス様のメッセージ

今までの考えが本当ではなく、自分が罪人だと認めるなら、Only キリストとなって、エデンの園の祝福が回復するようになります。創造のときの祝福が回復するのです。

2) ヨハネ 19:30、ローマ 8:2

イエス様がキリストとして、すべて完了してくださったので、すべての問題、不幸の運命から、地獄、滅びから完全に解放されました。

3) 神のかたちこそ祝福(創世記 1:27)-そこに神の国が

人が創造されたときの祝福は、神のかたちであり、神様がともにおられる存在だということです。鼻に息を吹き込んで、神様と一体

となる祝福を与えてくださいました。神様がともにおられることが、いのちです。悪魔の誘惑にだまされて、この神様がともにおられる祝福を奪われてしまったのですが、十字架でまた回復してくださいました。イエスをキリストと信じると、神の子どもとなり(ヨハネ 1:12)、神の神殿となります(1コリント 3:16)、私が生きているのではなく、キリストが生きて存在となり(ガラテヤ 2:20)死からいのちに移っている(ヨハネ 5:24)と言われます。神のかたちの祝福が回復したので、天にあるすべての霊的祝福が回復しました(エペソ 1:39)。神の国が臨むようになります。三位一体の神様の働きがあり、御座の祝福が臨み、神様の栄光が現れ、時空超越、237 を生かすいのちの光が放たれる、エデンの園の祝福が回復します。生涯、教会に献身して、職業にも空前絶後の祝福が注がれるのが分かります。これが祝福の本質です。

4) 征服こそ祝福(創世記 1:28)-そこに神の国のことが

神のかたちが回復したので、征服の祝福が回復します。世の光であると言われ(マタイ 5:14)、キリストのからだなる教会の一員であり(エペソ 1:23)、イエス様がぶどうの木で、そ

のいのちが流れる枝になったと言われます(ヨハネ 15:2)。神の神殿(1コリ 3:16)、王である祭司、預言者の働きをします(1ペテロ 2:9)。イエスの証人となるのです(使徒 1:8)。行くところ、いるところで暗闇、のろい、死、悪霊は逃げ去り、いのちを生かす証人としての人生を歩みます。暗闇は武器では征服できず、内におられるキリストによってのみ征服できます。御子のかたち、キリストの新婦と言われる存在になりました。この祝福を見て、神の国が現れるように祈りましょう。

神様はこのような元々の人間の祝福に戻りなさい、本質を回復しなさいと言われます。自分を罪人と認めるなら、なにか、だれかのせいではなく、Only キリストとなります。自分の中に Only キリストを邪魔する石(高慢、無知)を取り除き、罪人と認めましょう！自分の中に御座の祝福が現れ、神の国になり、生活のすべてに御座の祝福が現れ、伝道のやぐらが建つように祈りましょう！礼拝でみことばの本質を回復して、国と県、現場宣教師、教会重職者、RT ミニストリーの契約を握って、自分のミッションを見つけましょう！これらを持って、定刻の祈りに挑戦しましょう！

1 部-マルコ 10:1-12 本質の祝福

なるほど/「自分は罪人」と認めると、御言葉の本質である Only キリストになり、祝福の本質であるエデンの祝福を回復して、神の国を歩く。

ならば/Only キリストにならないようにするもの(自我)取り除き、御座の祝福が自分と自分関わっているすべてに現れることを祈ろう！

2 部-マタイ 25:14-30 管理人の人生(使命)

なるほど/自分の人生を神様から任されたものとわかって、管理人の人生を意識し、祈りと教会と現場をその目で見て、すべてを聖なる道具として扱うと、いのちの実を結ぶ。

ならば/職務から本質を、人から福音を、問題から祈りを見つける姿勢を持つよう！